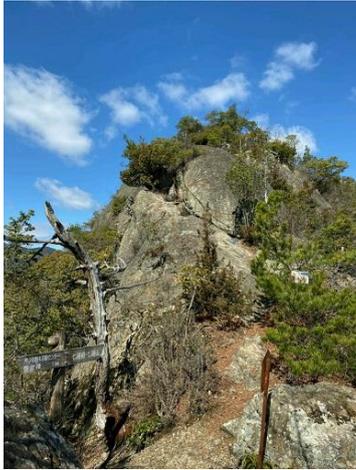


5月9日

七種山

中田繁男

山名	七種山		山行名	個人山行		
ルート	なぐさの森登山口→393ピーク→七種槍→小滝林道・分岐→七種山頂→七種の滝→七種神社→作門寺山門→徒歩→青少年野外活動センター					
山行日	5月9日(日)		天候	快晴		
参加者	リーダー： 中田繁男 男性：西川洋、田中正和、 女性：秋山正子、徳田幸子、倉光展子、染矢つや子、玉置安世 合計： 9名		サブリーダー：若林憲治			
概略図			コースタイム			
			地名	時：分	地名	時：分
	なぐさの森 登山口	集 発	9：00 9：35	七種神社 七種の滝	着 発	15：20 16：35
	奥山	着 発	 10：45	徒歩	着 発	
	七種槍	着 発	11：55 12：30	太鼓橋	着 発	16：40
	小林林道 分岐	着 発	 13：14	作門寺山 門	着 発	16：50
	七種山頂	着 発	 14：22	青少年野 外活動セ ンター	着 発	17：20
山行報告						
<p>コロナ禍の中例会が次々に中止を受けて参加者の中から個人山行での実施依頼があり、久々に岩場コースに臨みました。皆さんには夏山登山のトレーニングを兼ねることを伝えてあります。登山案内には厳しい岩山コースと説明した為か参加申し込みは意外と少ない参加者になりました。快晴の天気内容に満足してなぐさの森登山口からスタートした。予想はしていましたが、いきなりの急登が連続して息が切れる。樹林帯がやや過ぎたころの痩せた岩尾根は左右に切れ込み、いよいよ滑落注意の看板が目立つようになってきた。七種槍が見える所から岩場の危険な縦走路が続き緊張して通過した。我々が汗かいている目の前に小学生の子供が両親と先を登っているのが確認できた。すごい子だね！！七種槍で昼食してからアップダウンを10回くらい繰り返してやっと七種山頂に着いた。急登・急坂の連続が続く山道は濡れていると滑り落ちそうで疲れしました。鋭角の岩場上からの展望はよく、爽やかな風とともに疲れも吹き飛びます。七種山からの下山道も急坂にロープ箇所が次々に現れ、急勾配の変化が多くあっという間に七種神社の登山口に到着してしまった。そこには高低差約70mの七種滝が迎えてくれました。爽やかな滝の音に癒されてしばしの休憩。七種山は姫路市の消防団が定期的に訓練山行に毎年来ているような、岩山トレーニングとしても地元では有名な山です。スリリングなやせた岩尾根で側面に崖が見えて危険な箇所が多く慎重に注意して臨んだ山行でした。お蔭様でヒヤリハットはなく流石に参加したメンバーには脱落者なく七種山縦走は無事に踏破できた。</p>						
ヒヤリハット : 特になし						

七種山感想文

若林憲治

前回の個人山行(鎌ヶ岳下見)から1ヶ月振りに今回の七種山個人山行に参加
1ヶ月間全く登山活動しておらない事で低山(683m)では有るが岩場登山が楽しめるとの事からブランクを補うにはベストな高さで有ると判断しての参加であったが、実態とはかなり乖離していた。野外活動センター(標高150m)からのスタート 第一関門は約200m登り約100m下る。第二関門は約300m登り200m下る。第三関門100m登り200m下る。第四関門は約300m登り約500m下る などアップダウンの距離を合算すると1,000m以上のコースで天気に恵まれたので幸いでしたが、急登箇所も多く小雨では厳しいコースに急変する低山であると思われるも、驚く事に山頂には小学生や6歳の子供も登頂していた。

親のエゴ??? (でも子供はにこにこ顔) それとも私自身の体力減退したのかな～
下山時、七種滝ではマイナスイオンを満喫して登山疲れをいやしてくれた。七種槍(昼食)、山頂、七種滝での休憩時間を含み約7時間の個人山行を楽しんだ。西川さん、田中さん長距離運転お疲れ様ご参加の皆さんお疲れ様でした。



田中正和

急な登り下りで滑りやすく、かなり慎重に歩きすぎた所為か、あまり余裕はありませんでした。
それでも時折眺める景色や七種は圧巻で、疲労を吹き飛ばしてくれました。
近ければ何度も通いたい様な名コースだったと思います。

